

令和7年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 16
ID 102002

【施設状況】

グループ名称	障害者福祉施設(栗田園、ハーモニー桃の郷、ほたるの里)、障害者就労支援施設(ななせ仲まち園、ふたば園)、障害児通園施設(篠ノ井愛の樹園)、障害者支援施設(ひかり学園)									
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会						法人番号	5100005001689		
所管課	主	102000	障害福祉課	副						
構成施設	1421	栗田園				1422	篠ノ井愛の樹園			
	1416	障害者福祉施設ハーモニー桃の郷				1413	障害者支援施設(ひかり学園)			
	1415	障害者福祉施設ほたるの里								
	1411	ななせ仲まち園								
	1415	ふたば園								
施設分類	05	保健福祉・医療型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	【栗田園】作業室4、静養室3、相談室、更衣室2、職員室、事務室 【ハーモニー桃の郷】作業訓練室4、浴室、洗濯室2、更衣室2、食堂、厨房、医務室 ほか 【ほたるの里】作業室、作業室兼多目的室、静養室、更衣室、事務室兼相談室 【ななせ仲まち園】作業室3、静養室2、食堂兼多目的室、相談室、更衣室2、事務室1 【ふたば園】作業室、静養室兼多目的室、更衣室2、事務室兼相談室 【愛の樹園】保育室、訓練室、食堂、静養室兼相談室、事務室 【ひかり学園】居室46、短期入所専用室8、食堂、厨房、浴室1、特殊浴槽1、作業室6 ほか									
施設設置目的	【栗田園】障害者に対し、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、及び就労の機会を提供し、並びに障害児に対し、生活能力の向上のために必要な訓練を行うことにより、障害者及び障害児の福祉の増進を図ることを目的とする。【ハーモニー桃の郷】障害者及び障害児が、自立した日常生活又は社会生活を営むため、必要な支援を行うとともに、地域との交流の機会を提供し、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図る。【ほたるの里】障害者に対し、日常生活上の支援並びに創作的活動及び生産活動の機会の提供その他の身体機能又は生活能力の向上のために必要な支援等を行うことにより、障害者の福祉の増進を図る。【ななせ仲まち園】生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、また、就労の機会を提供することにより、障がいの就労を支援する事を目的とする。【ふたば園】生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、また、就労の機会を提供することにより、障がいの就労を支援する事を目的とする。【愛の樹園】障害児が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適應することができるよう、障害者の状況、並びに、置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。【ひかり学園】施設に入所する障害者等に対し、主として夜間において、入浴、排泄、及び食事等の日常生活上の施設入所支援を行うとともに、生活介護の施設障害福祉サービスを提供することにより、障害者等の福祉の増進を図る。									
基本方針等	【栗田園】利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援に努めるとともに、地域や家族との結びつきを重視し、利用者の所在する市町村、居宅支援事業者その他保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携を図る。また、生産活動の機会の提供にあたっては、利用者の心身の状況、意向、障害の特性を考慮する。【ハーモニー桃の郷】複合施設として、総合的に事業の連携を図り、障害者の日中活動支援と介護者である家族の負担軽減に努めるとともに、障害者が地域において自立した生活を送れるよう、安定した作業の確保と一般就労に向けた支援を行う。【ほたるの里】平成30年度に就労移行支援事業から生活介護へ事業を移行した経過があり、今後はより重度の障害を持った人の施設利用を想定する。【ななせ仲まち園】利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援に努めるとともに、地域や家族との結びつきを重視し、利用者の所在する市町村、委託支援事業者その他保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者との連携を図る。また、生産活動の機会の提供にあたっては、利用者の心身の状況、意向、障害の特性を考慮する。【ふたば園】利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援に努めるとともに、地域や家族との結びつきを重視し、利用者の所在する市町村、居宅支援事業者その他保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携を図る。また、生産活動の提供にあたっては、利用者の心身の状況、意向、障害の特性を考慮する。【愛の樹園】児童の個性を尊重し、発達に応じた支援を行うとともに、保護者への子育て支援・相談を行う。【ひかり学園】利用者が安心・安全・快適に過ごせる生活環境の確保を基本とし、生きがい、楽しみを感じられる生活が送れるよう、個別支援計画を作成し、適切な支援を行う。また、サービス機能の充実を図り、利用者の利便性を高めるとともに、事業の効率化を目指す。短期入所事業においては利用者や家族の意思を尊重し、緊急時の入所機能の充実にに向けたサービスの提供を目指す。									
主な実施事業	【栗田園】就労継続支援B型事業・放課後等デイサービス事業 【ハーモニー桃の郷】重症心身障害者支援事業(生活介護、児童発達支援、放課後等デイサービス)・生活介護事業・就労継続支援B型事業・地域生活支援事業・交流ホールの貸し出し事業・相談支援事業 【ほたるの里】生活介護事業 【ななせ仲まち園】就労移行支援事業・就労継続支援B型事業 【ふたば園】就労継続支援B型事業 【愛の樹園】児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業・保育所等訪問支援事業 【ひかり学園】生活介護事業・短期入所事業・施設入所支援事業									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		社会福祉法人長野市社会事業協会			当該指定管理者の 指定回数		1回	
指定期間		令和3年4月1日		～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	令和3年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)							3

2 施設の有効活用

No. 16

		利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		栗田園(就労継続支援B型)	人	32	30	29	26	90%	
		ハーモニー桃の郷(地域生活支援)	人	19	19	18	16	89%	
		ほたるの里(生活介護)	人	16	15	15	15	100%	
		仲まち園(就労継続支援B)	人	26	28	28	25	89%	
		ふたば園(就労継続支援B)	人	18	19	18	19	106%	
		愛の樹園(児童発達支援、放課後等デイ)	人	10	10	10	11	103%	
		ひかり学園(施設入所支援)	人	56	58	57	57	100%	
		(特記事項)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案				追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	【共通】施設及び設備の維持管理に関する業務 【栗田園】・就労継続支援B型、放課後等デイサービス 【ハーモニー桃の郷】・地域活動支援センター・交流ホール・生活介護・就労継続支援B型・生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス 【ほたるの里】・生活介護 【仲まち園】・就労移行支援・就労継続支援B型 【ふたば園】・就労継続支援B型 【愛の樹園】・児童発達支援・放課後等デイサービス 【ひかり学園】・生活介護・短期入所・施設入所支援				【愛の樹園】 ・発達支援指導(言語聴覚士による言語訓練、作業療法士による作業療法、理学療法士による理学療法) ・健康診断(内科・歯科) ・保護者向けの研修等の開催 ・放課後等デイサービスの利用が0人 当法人内に近隣で放課後デイ事業所を2カ所開設し、積極的に篠ノ井愛の樹園の卒園児について利用を促してきました。結果、篠ノ井愛の樹は児童発達支援の利用中心で事業が展開でき、より専門性を持って支援にあたることが出来ています。			
	自主事業	【栗田園】・障害児自立サポート事業 【ハーモニー桃の郷】・居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護・障害児自立サポート事業・在宅障害者タイムケア事業 【ほたるの里】・在宅障害者タイムケア事業 【仲まち園】・就労定着支援 【ふたば園】・在宅障害者タイムケア事業 【愛の樹園】・保育所等訪問支援・障害児自立サポート事業 【ひかり学園】・在宅障害者タイムケア事業・障害児自立サポート事業							
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・通所ガイドブック、WAMネット及びホームページ等に事業所の情報を掲載 ・各事業所において毎月通信誌を発行 ・職員専門知識のスキルアップのため研修会に参加 ・利用者と共に納品先業者へ訪問し、企業と良好な関係を築いている							

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	3
		(2) 調査、会議等の内容	【共通】 ・サービスの支給決定にあたり行われる利用者支援会議の場や、利用者及び家族との連絡ノート、電話、利用者ミーティングの実施等により把握している。 ・児童に対するサービスにおいては、法令に基づき、年に1回は保護者評価アンケートを行い、公表している。 【ハーモニイ桃の郷】 ・指定事業ごとに利用者からのアンケート調査や意見箱を設置するとともに利用者支援会議や直接相談等で聞き取りを実施。 【ほたるの里】 ・毎週金曜日に当日通所した利用者全員を集めて「コービー」の会を開催し、利用者から要望等を聴く時間に充てた。また、年度末には来年度やってみようことを自由に話す会を開催した。	
		(3) 調査、会議等の結果	・サービスの個別支援計画や目標設定の参考とし、ニーズに寄り添った支援を提供できるよう努めている。 ・外出行事に関して各事業所とも感染症対策を徹底の上実施した。ハーモニイ夢まつりを開催した。(ハーモニイ桃の郷) ・年度末の聞き取り調査の際、利用者から「畑で野菜を育ててみたい」との要望が多かった為、施設敷地内に菜園を作ることが決定した。(ほたるの里) ・コロナ禍により外出、旅行などは制限はあるものの、可能な範囲で実施を始めている。また感染対策を十分に行ってのドライブや施設周りの散歩等実施した。(ひかり学園) ・保護者の面会、帰省等制限はあるものの継続している(ひかり学園)	
	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	・定期的な支援会議だけでなく、日々における面談や電話相談にて利用者及び家族の意見要望に真摯に向き合い、要望に対しての返答や改善に取り組んでいる。 ・個々の利用者の特性を的確に把握し、自分の気持ちを伝えられない方については、保護者等家族との会話を欠かさないよう配慮している。 ・同法人内の他事業所との連携により、利用者のニーズに応えている。 ・本人も通所を楽しみにしているし、送り出す親として安心して預けることができた。	3
		(2) 苦情・改善等の要望事項	・職員の対応(職員の言動等)、支援内容について、要望や相談がある。 ・駐車場の要望 ・工賃を上げて欲しい。 ・建物や設備の老朽化による不便さを感じている(栗田園) ・女子トイレの手洗いの詰まりの解消と、蛍光灯の修繕をして欲しい(なせ仲まち園) ・先生が療休することで普段の活動ができるか心配(愛の樹園)	
		《対応措置》	・工賃についての要望は、決算後に一時金として支給した。 ・施設の老朽化については市と相談し改修等に向けて協議した。 ・手洗いの改修を実施した。 ・利用者に不安にならないように職員の配置を考えた。	

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和7年度決算			令和6年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
	指定事業	利用料金	2,526,000	利用料金	1,832,710	歳入	使用料	12,000		使用料	12,000
指定管理料		22,384,000	指定管理料	21,750,000	雑(納付金)			雑(納付金)			
委託料			委託料	0	行政財産目的外使用料			行政財産目的外使用料			
販売収入等			販売収入等	0	貸付料			貸付料			
その他収入		48,526,000	その他収入	63,231,582	その他			その他			
障害サービス事業収入		815,114,000	障害サービス事業収入	804,274,956	利益配分			利益配分			
収入計		888,550,000	収入計	891,089,248		計	12,000	計	12,000		
人件費		617,020,000	人件費	594,386,079	歳出	指定管理料	21,750,000	指定管理料	21,750,000		
設備管理費		6,053,000	設備管理費	4,734,562		委託料	176,000	委託料	0		
備品購入費		13,250,000	備品購入費	12,991,641		需用費		需用費	0		
修繕費		14,989,000	修繕費	8,338,769		役務費		役務費	0		
光熱水費		42,551,000	光熱水費	41,410,100		使用料・賃借料	888,613	使用料・賃借料	466,213		
事業費		50,250,000	事業費	50,598,437		修繕費		修繕費	0		
事務経費		69,374,000	事務経費	63,645,326		工事請負費	30,800,000	工事請負費	49,783,860		
本社経費	27,280,000	本社経費	27,401,656	備品購入費			備品購入費	505,090			
その他	44,155,000	その他	58,419,763	その他		635,711,401	その他	590,759,508			
		利益配分									
支出計	884,922,000	支出計	861,926,333		計	689,326,014	計	663,264,671			
指定事業損益	3,628,000	指定事業損益	29,162,915								
利益配分を除く 指定事業損益	3,628,000	利益配分を除く 指定事業損益	29,162,915								
収入	169,123,000	収入	172,342,260								
自主事業	支出	172,431,000	支出	169,380,392							
	自主事業損益	-3,308,000	自主事業損益	2,961,868							
損益		320,000		32,124,783	差引	-689,314,014		-663,252,671			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									69.0%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				本部経費(人件費等)の実績により再計算を行っているため							

5 管理運営全般 ※すべて ☒ で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分		確認内容	チェック欄	評価
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3
		配置実績 (うち市内雇用職員数)		
		【栗田園】労継続支援B型 11人(11) 放課後等デイサービス 7人(6) 【ハーモニー桃の郷】生活介護7人(7)、重症心身障害者支援3人(2)、地域活動支援3人(3)、 就労関係支援7人(7)、 居宅支援6人(6)、相談支援11人(10)、嘱託医1人(1) 【ほたるの里】生活介護 15名(14名) 【ななせ仲まら園】就労移行 4人(4) 就労継続支援B型 10人(10) 【ふたば園】常勤7名 非常勤3人 計10人 (8人) 【篠ノ井愛の樹園】児童発達支援 13人(8) 【ひかり学園】常勤37人(34人)、非常勤19人(18人) 計56人		
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒	
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☒	
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☒		
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか			

6 危機管理体制

※ すべて [] で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

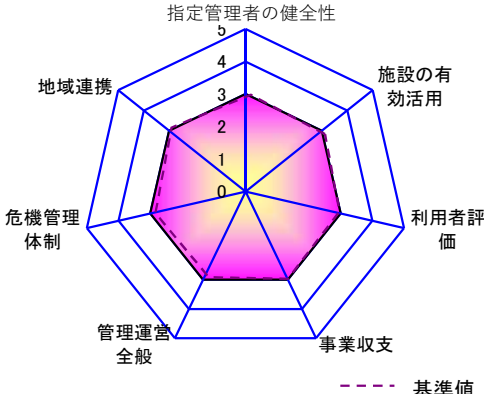
No. 16

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
	【共通】 ・市内雇用や市内事業者からの物品購入を基本としている。 【ななせ仲まち園】 地域と連携して防災訓練や作業活動の実施 【ひかり学園】 体育館の無料開放 【ハーモニー桃の郷】 川中島中学校の生徒会役員、福祉員会と交流		

【総合評価】

総合評価					
総合評価	評価項目	評価	得点	総合評価	
	指定管理者の健全性	3	6	合計得点	
	施設の有効活用	3	6		
	利用者評価	3	12	60	
	事業収支	3	6		
	管理運営全般	3	12		
	危機管理体制	3	12		
	地域連携	3	6		
	評価理由				
○施設の有効活用 【ひかり学園】 ・地元住民へ体育館の開放を行っており、地域へ施設の理解を図っている。 ○事業収支 【ななせ仲まち園】 ・就労移行支援について利用者にあった就職先を探しており、一般企業へ4名の利用者が就労に結び付いたので評価し今後も期待できる。 ○地域貢献 【栗田園】 ・地域連携について、市の「みらいハッ！ケンプロジェクト」を活用しものづくり体験やプロサッカーのコーチを招集しサッカー体験を実施し、利用者から好評を得ている					
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)		
	全施設、建設から20年以上経過しており、施設整備をはじめ更新時期になっている。	R7は、ひかり学園つくし棟の空調設備改修工事を実施(R8繰越)	施設改修については、緊急性を十分に見極め、計画的に改修を進める。		
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・利用者や利用者家族のニーズに寄り添った支援の継続を図る。 ・利用率の向上に努め経営の安定を図る。				

指定管理者自己評価		
(1) 今年度の取組みに対する評価 ① サービス向上に向けての取組み 【ななせ仲まち園】 ・十分なアセスメントに基づいた、きめ細かな個別支援計画を作成し、利用者及び家族のニーズや意向に沿ったサービスの提供となるよう努めた。 【ハーモニー桃の郷】 ・かがやき(生活介護)びあぼーと(重心対象多機能)の1F部分については、一体的な活動を行い、送迎、入浴、食事提供、行事等のサービスを提供した。外出に関しては、感染症に十分留意しながら少人数毎に実施をした。また、年間を通じて外部講師による機能訓練や音楽療法等の活動や、障害特性やニーズに沿ったプログラムを用意した。 【ひかり学園】 ・障がいの重度化、高齢化に伴い、身体機能の維持、健康管理に留意する為、毎週理学療法士によるリハビリを実施。また令和6年度より作業療法士による日常生活のサポート支援も実施。 【ふたば園】 ・障害特性にあった作業種を導入し、働く喜びを実感することで意欲や自信につながる支援を提供した。 【はたるの里】 ・日頃の支援でご利用者様の思いを聞き取り、ケース会議、職員会議を開催し、個々のニーズに沿った個別支援計画を策定。ご利用者様の意思及び人格を尊重し常にご利用者様の立場に立った支援に努めている。 【栗田園】 ・「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域とのつながりを明確化した個別支援計画の作成のための適切なアセスメントの充実を法人の放課後等デイサービス事業所全体で取り組み、計画立案し支援に当たった。 【篠ノ井愛の樹園】 ・個別のニーズに対応できる専門性を高めるため、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士など専門職から日々の支援の助言をいただくとともに、職員の研修会を開催し資質向上に努めています。 ② 業務の効率化に対する取組み 【共通】 ・法人内のネットワーク環境を整え、情報を共有するとともに、関係機関と連携し迅速な対応ができるようにしている。 ・支援記録システムの導入により日誌・ケース記録等、記録作業にかかる時間の短縮を図り数年が経ったが、多くの職員が慣れてきており効率化が進んでいる。 ・タイムカードによる勤怠管理の徹底により、時間内に業務が終了するよう時間配分に気を付けられるようになってきている。 【ハーモニー桃の郷】 ・交流ホール管理においては、夜間、休日等に当直職員を配置し、効率的な管理を行われるように努めている 【栗田園】 ・投降園管理システムの保護者との連絡機能を活用し、毎月のお便りや連絡事項などを一斉送信することで職員の業務効率化を進めた。 ③ その他 【ふたば園】 ・企業に納品に向出く際は、利用者に同行していただき、企業の理解を得るとともに社会とのつながりを大切にしている。 【ハーモニー桃の郷】 ・災害時には福祉避難所となりうるため、非常用物資の備蓄をしている。また、防災減災にむけた取組や業務継続についての検討をおこなっている。医療的ケアの方をための福祉避難所との打診があり避難場所の再検討を行っている。		
(2) 指定管理者業務実施上の課題 【ななせ仲まち園】 ・作業室および事務所のエアコン、給湯器など、設備の故障があるもの、耐用年数を超えているものがあり、入れ替え等障害福祉課と相談しながら実施していく。 【ハーモニー桃の郷】 ・施設利用者の他、南部障害者相談支援センターなどの会議等による来館者が増えており、駐車場不足が深刻である。今の駐車場も更新できない見込みであり、早急に別の場所での確保が必要である。 【ひかり学園】 ・建物や設備全般の老朽化が進んでおり、ライフラインに関わる給水ポンプを含め、利用者の生活が継続できるように今後も長野市へ改善要望を提出していくとともに、利用者の重度化・高齢化に対応しきれない環境整備や修繕についても引き続き要望を行うが、特に緊急性の高いものについては今年度から早急に対応を進めなければいけない状況である。 【ふたば園】 ・工賃アップの取り組みと重度障がい者に対する支援の向上。 【はたるの里】 ・安全な支援体制の確保に向けた加算取得と体制整備 【栗田園】 ・栗田園は施設の老朽化が進み耐用年数が過ぎている中、建て替えについては何の進展もない状況である。特に南棟(旧愛の樹園棟)の屋根・外壁の劣化が進行している。耐震診断もなされておらず、危険性の把握が出来ない状況である。栗田園利用者だけでなく放課後等デイサービスで障害をお持ちのお子さんが利用しており、安心・安全な環境で支援するのが難しいと考える。 【篠ノ井愛の樹園】 ・臨時職員を含めた職員数が13名になっています。隣接のふたば園は職員総数は11名です。勤務表上最大22名、平均20名の職員が出動しています。利用者用の駐車場を4台程度確保しますと、職員が止められる駐車スペースは14台程度になり、他は与えられた駐車スペース以外に停めざるを得ない状況になっています。勤務職員の確保は業務上絶対的な条件で、土地柄もあり賃貸できる駐車場はありません。是非とも駐車スペースの確保をお願いいたします。 ・建設47年になり、老朽化が激しいことと、現代の障害児支援の環境としてはあまり適切な物とは思っていません。少しでも支援環境を維持向上できるよう手をいれたい。		
(3) 総合評価 ① 評価理由 【ななせ仲まち園】 ・就労移行事業の利用者が就職するとともに、定着支援事業では就労後のフォローに努めた。 【栗田園】 ・十分なアセスメントに基づいた、きめ細やかな個別支援計画を作成し、利用者及び家族のニーズや意向に沿ったサービスの提供することができた。 【ひかり学園】 ・障害の重度化、高齢化に対応できるよう職員の専門性、スキルアップに努め利用者支援に繋げている。 【はたるの里】 ・事業体制を新体制へ移行準備中だったため、当法人で設定している目標利用率(80%)は達成できた。また、運転資金確保のため、法人内他事業所から繰入を実施する状況となった。令和7年度は移行準備を進めることができ、令和8年度に繋げることができる。 【篠ノ井愛の樹園】 ・お子さんの発達状況に合わせた支援を展開するとともに保護者のニーズに寄り添った事業を実施。 ② 次年度以降の取組み 【ななせ仲まち園】 ・養護学校からの実習生の受入れなど、関係機関との連携を図り、新規利用者の確保に努める。 【ハーモニー桃の郷】 ・桃の郷内の事業を一体的に運営することで、人員配置や設備や備品等経費削減に努め、引き続き効率的な運営を行う。また、それぞれの福祉サービスに関し総合的に事業の連携を図り、福祉の増進を図る。 【ふたば園】 ・利用率の向上に努め経営の安定を図る。 【はたるの里】 ・強度行動者のある方の支援の強化のため、設備面での充実(個室化への改修等)を長野市と継続的に協議していきたい。 ・設備面での課題を解決することで、新規利用者の受け入れを可能にし、経営の安定、更なる支援の充実に向け取り組んでいく。	評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る	指定管理者 自己総合評価 C